

(様式1)

データ関連人材育成プログラム
申請の概要

1. 申請取組

| | |
|-----------------|--|
| 代表機関名 総括責任者名 | 株式会社オプティム 菅谷俊二 |
| 実施予定期間 | 平成29年度～平成36年度 |
| 実施予定所要 見込額 | <p>【所要見込額】</p> <p>平成29年度：総額：50百万円（うち自己負担額 30百万円） 平成30年度：総額：110百万円（うち自己負担額 60百万円） 平成31年度：総額：130百万円（うち自己負担額 70百万円） 平成32年度：総額：150百万円（うち自己負担額 80百万円） 平成33年度：総額：150百万円（うち自己負担額 80百万円） 平成34年度：総額：150百万円（自己負担全額） 平成35年度：総額：150百万円（自己負担全額） 平成36年度：総額：150百万円（自己負担全額）</p> <p>総 額：1040百万円（うち自己負担額 770百万円）</p> <p>※総額は大学・院の教授・講師料、インターン費用、受講生を雇用した場合の給与並びに事務運営費を概算しております。正式エントリーに向け精査・再見積もりを実施いたします</p> |
| 目標・行動計画 の設定 | <p><目標></p> <p>受講者からのオプティム採用10名/年 博士号取得者数、特許出願数など育成結果としてのKPIは現在協議中</p> <p><行動計画></p> <p>参画機関にてすでに取り組んでいるAI・IoT人材の育成に向けた取り組みを発展・強化させる形で29年度は推進。 30年度からの本格スタートに向けて、代表機関に検討事務局を設置し、参画機関連携の下、6月末を目途にプログラムの体系化を行い、カリキュラムへの落とし込み、運営プロセスの具体化、受講者の募集活動を実施 31年度以降は、受講生の拡大を図ると同時に、さらなるプログラムの質の充実に向け、事務局を中心にブラッシュアップ活動を継続的に推進する ※現在、実行計画を策定中につき、案となります。</p> |

(代表機関名：株式会社オプティム)

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>取組の概要</p> | <p>本取り組みは、第4次産業革命の確実な実現に向け、産学官が連携し、AI・IoTに関する高度専門人材を創造・開発し、事業貢献、さらには将来の高度IT人材の育成に向けた礎をつくることを目的とした取り組みである。</p> <p>具体的には、参画機関を中心に、既に社会で活躍している高度なスキルを持つ博士号保持者、博士課程履修者に加え、一般企業・大学・大学院等にてAI・IoT関連業務・専門スキルの習得・強化に取り組む者を受講生として募集・選抜。</p> <p style="text-align: center;">＜コンソーシアムに求められる要件＞</p> <p>博士号・博士課程：学校問わず。埼玉大学と佐賀大学を中心とした工学系、機械科学専攻の博士。</p> <p>修士・学部生：学校問わず、理系出身の学生。またはプログラミングやITに精通した知識を保有する者。</p> <p>一般企業：埼玉県産業技術総合センターを中心とした研究開発に取り組む企業就業者。</p> <p>受講(選抜)者の能力・キャリア志向に応じ、講義・研究・就業を織り交ぜた3つ(予定)の強化プログラム(コース)を設定し、個々のレベルに合った育成を行う。さらに参画機関への就業(就職)や独立支援により、さらなる専門性の強化や事業成果の創出、後進の育成などキャリア開発を実施する。</p> <p>※現在、実行計画を策定中につき、案となります。</p> <p>また、本コンソーシアムが選定されなかった場合でも実施をする。</p> |
| <p>コンソーシアム 参画機関(予定)</p> | <p>国立大学法人 埼玉大学 国立大学法人 佐賀大学 埼玉県産業技術総合センター 株式会社オプティム</p> |

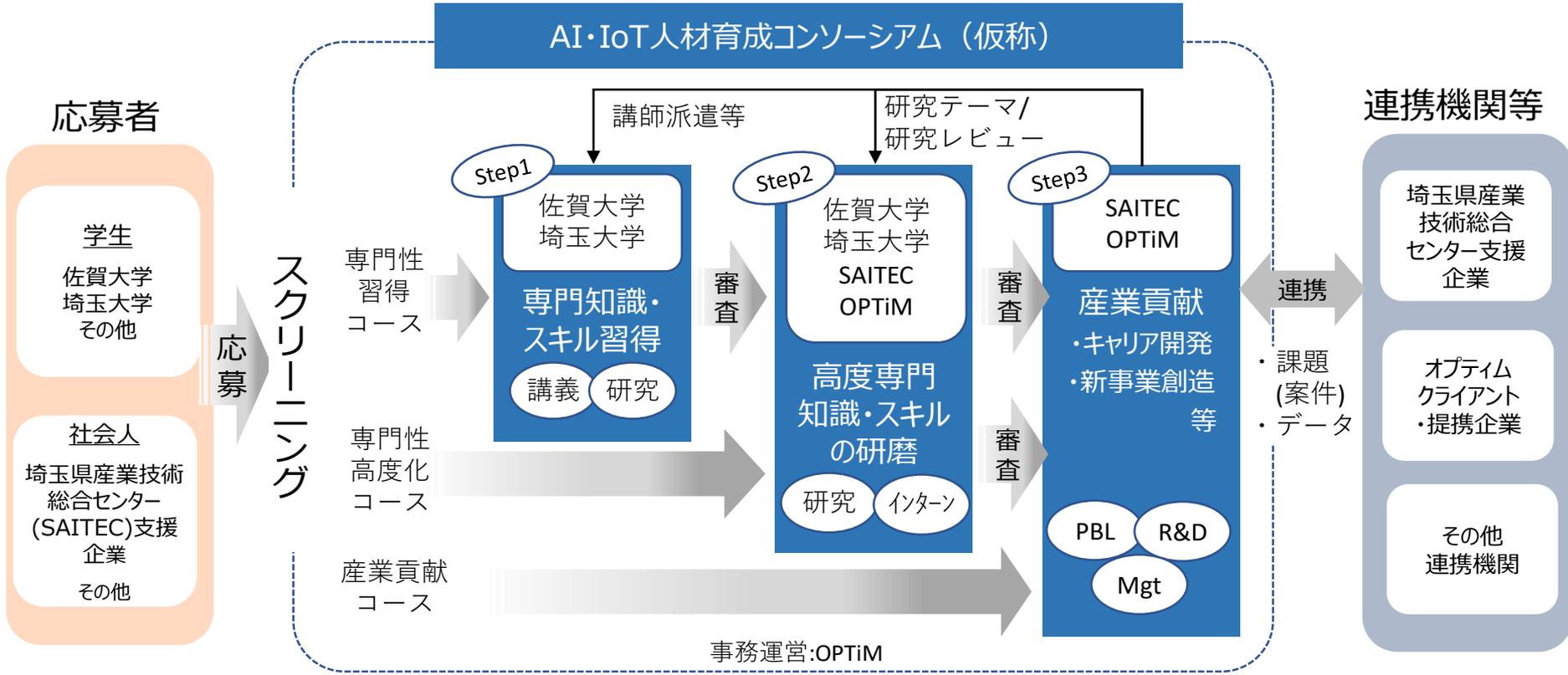
2. 連絡先等

| | | | | | |
|---|--|--|-----|-------------------|--|
| 代表機関の 総括責任者 | 氏名 | すがや しゅんじ 菅谷 俊二 | | | |
| | 所属機関名 | 株式会社オプティム | | | |
| | 役職名 | 代表取締役社長 | | | |
| 代表機関の 実施責任者 | 氏名 | やました たかとし 山下 隆敏 | | | |
| | 役職名 | 執行役員 | | | |
| 代表機関全 体の事務連 絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)</small> | 担当者名 | ささき ゆみ 佐々木 友美 | 役職名 | リーダー | |
| | 所属組織・部署名 | 株式会社オプティム 経営企画本部 HRチーム | | | |
| | 事務 連絡先 <small>(当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)</small> | 〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号汐留ビルディング 21F | | | |
| | | TEL. 03-6435-8570 | | FAX. 03-6435-8560 | |
| | | E-mail: recruit@optim.co.jp | | | |
| 代表機関に おける経理 管理責任者 <input type="checkbox"/> | 責任者名 | はやし あきひろ 林 昭宏 | 役職名 | 取締役 | |
| | 所属組織・部署名 | 株式会社オプティム 経営管理本部 | | | |
| 代表機関全 体の経理管 理担当者 <input type="checkbox"/> | 担当者名 | こばやし たけし 小林 健 | 役職名 | ゼネラルマネジャー | |
| | 所属組織・部署名 | 株式会社オプティム 経営管理本部 経理財務チーム | | | |
| | 事務 連絡先 | 〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号汐留ビルディング 21F | | | |
| | | TEL. 03-6435-8570 | | FAX. 03-6435-8560 | |
| E-mail: ml-accounting@optim.co.jp | | | | | |

(申請機関名：株式会社オプティム)

概要スキーム（検討中案）

目的 産学官が連携することで、第4次産業革命の実現に向け、AI・IoTを活用し、あらゆる産業をリードする優秀なエンジニアの継続的に育成・輩出する



- 主として参画機関を通じて受講者を募集
- 学校を問わず工学系、機械科学専攻の博士（課程）人材を中心とするが、修士・学士（課程）も対象
- 応募者の専門性・キャリア志向から選抜し、育成プログラムを設定

- 大学・大学院の授業の活用・研究室への参画に加え、専用講義も実施
- 研究と並行して、インターンプログラムへも参画し実用的なスキルを獲得
- 次のステップに進む際には、相応のスキルを身につけているか審査を実施

- 実際の案件（PBL・R&D）に参画し、事業課題解決に取り組むことで実践的かつ高度なスキルへとさらに磨き上げる
- キャリア志向に応じ、スペシャリスト、マネジメントへのキャリア開発を支援